

報告回	#2政治センター幹事会 (1月度)	#3政治センター幹事会 (5月度)	#4政治センター幹事会 (8月度)
-----	----------------------	----------------------	----------------------

田原市

所属議員

赤尾昌昭 平松昭徳

産業目線

【活動項目】 ④産業道路環境		【活動テーマ】 田原臨海工業地域周辺道路の渋滞解消
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現（ルート案1＝西側ルート：田原市要望案の実現） 市道下畠波瀬線の早期開通 国道259号渋滞解消 	
前回まで 活動状況	<ul style="list-style-type: none"> 会派代表質問でR259号（老津～豊島）、浜松三ヶ日・豊橋道路の本年度の取り組み内容など確認。 予算委員会で市内幹線道路の整備方針等を確認。 	
今回 具体的活動	<p>○国道23号BPの全線開通見通し新聞報道を受け（右写真参照）開通スケジュール等詳細について市担当課に確認。 【主な回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中部地方整備局への詳細確認として報告を受けた。 国土強靭化対策5カ年の予算措置を受け、当初予定の3年の前倒しR6年度中共用想定ができた。 暫定2車線での開通予定。 <p>○「市道下畠波瀬線」含む市内幹線道予算執行状況の確認を実施。 【主な回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道下畠波瀬線第2工区1.4kmについて、測量の入札を7月中実施予定。 R4年度取得予定の用地交渉について協議開始。 	
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> 浜松三ヶ日・豊橋道路について、早期整備実現に向けて関係各所への働きかけを継続する。 国道を含めた県管理道路、市内幹線道について一般質問や予算委員会等で状況の確認と継続した要望活動を実施する。 	

【図や活動の様子が分かる写真など】

[国道23号BP関連新聞報道]



報告回	#2政治センター幹事会 (1月度)	#3政治センター幹事会 (5月度)	#4政治センター幹事会 (8月度)
-----	----------------------	----------------------	----------------------

田原市	所属議員 赤尾昌昭 平松昭徳	
-----	-------------------	--

組合員目線

【活動項目】 ④防災		【活動テーマ】 南海トラフ地震に備えた防災活動
到達目標	・津波避難困難地区の津波避難施設の早期実現 ・安全な避難路・避難経路の確保 ・コロナ禍による避難所の運営等の見直しを進め避難所運営の確立	
前回まで 活動状況	・29期後半期からの新たな取り組みだが、会派として市政運営要望書、委員会等の場では、「防災対策の充実」を図るため、高潮及び津波防災地域づくりの推進、防災・減災地域づくりの推進を掲げ、課題の指摘や様々な要望等実施を継続して進めてきた。課題に対して対応が進められている。	
今回 具体的活動	<p>○避難困難地区の津波避難施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中山地区で津波避難施設（5か所）の整備 全5か所の津波避難施設が完成すれば2,034人の避難が可能になる。（小中山地区人口：約1,960人） 令和3年6月現在、津波避難施設3か所の建築が進められている。 <p>○安全な避難路・避難経路の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波災害警戒区域における避難体制の整備の一環として、対象区域内の市民を対象にライフジャケット（救命胴衣）を有償で配布（2か年で実施） ・田原市津波防災地域づくり推進計画が見直された。国や県との連携により、効果的な津波防災（ハード・ソフト）を体系立てて推進（道路ネットワーク整備、津波避難施設整備、防災教育等） ・津波等発生時、避難路には狭隘道路や老朽化した家屋や耐震化していない建築物等があり、地震発生時に建物の倒壊や倒木等により通行できないおそれがあるため、各自治会と協力し経路見直しを含めた整備や対策等を引き続き要望を進める。 <p>○コロナ禍による避難所の運営等の見直しを進め、避難所運営の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「避難所における新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」が作成され、消毒液等の感染症防止資器材の備蓄・分散配備の充実をおこない、自治会と共に避難所の開設訓練を実施していく ・連合地協と共に要望していた「避難所における要配慮者用の備蓄品の拡充」について、備蓄トイレの様式化、子ども用オムツ、大人用オムツ、粉ミルクなどの備蓄品の充実が示された。 	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p>   
今回の進捗 【○】	<p>◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり</p>	<p>〔避難施設（3か所）の建設現場〕</p>  <p>〔避難所開設訓練〕</p>  <p>〔備蓄品の拡充〕</p>
今後の活動	・新たな事業や避難困難地区の津波避難施設の建設等について随時確認をおこない、事業進捗の把握を進め、課題等があった場合は対応案の確認や提言を随時進めていく。	

(参考) 田原市 テーマ登録背景

(1)産業目線 産業目線①～④項目から選択

田原市取り組み項目	④産業道路環境
田原市取り組みテーマ	田原臨海工業地域周辺道路の渋滞解消
選定理由・背景・思い	組織内議員の具体的取り組み内容

田原市臨海工業地域での朝夕の慢性的な渋滞で事故の誘発や部品納入便の遅れなどの要因となっている。また、組合員からは快適な道路整備の要望が強い。渋滞の主な要因は豊橋明海地区の渋滞が起因して田原地区まで渋滞が続いているため、明海地区の渋滞回避策とともに豊橋・田原市境の道路整備急務となっている。現在浜松三ヶ日・豊橋道路のルート選定に入っており、豊橋方面での結節点が明海地区となる公算が高く、結節による交差点改良等の道路整備が加速することになる。さらに国道23号バイパスの4車線化の延長を促すことで豊橋・田原間の流れがスムーズになり田原地域までの渋滞解消に期待ができる。

また、組合員より国道259号の豊橋・田原市境の渋滞解消のための整備を望む声が強い。さらに田原臨海工業地域周辺道路も道幅狭く通勤時の交通安全の観点からも整備を急ぐ要望が多い。

(2)組合員目線 組合員目線①～⑥項目から選択

田原市取り組み項目	④防災
田原市取り組みテーマ	東南海トラフ地震に備えた防災活動
選定理由・背景・思い	組織内議員の具体的取り組み内容

・田原市は半島であり、太平洋、伊勢湾、三河湾と三方を海に囲まれており、地震発生時の津波による被害が懸念されている地域である。南海トラフ地震が発生した場合、揺れや液状化等による橋の落橋・沈降及び避難路の損傷、津波による浸水、さらに家屋の崩壊や水道・ガス・電気・通信などライフラインが止まることが危惧され、市民生活に甚大な影響がでることが想定されている。また、田原市には、海拔が低い地域が多く、津波による被害を受けやすく、特に伊良湖地区の堀切、小中山には、集落の周辺に高台等がない平地のため、津波の襲来による被害のおそれがある。

・津波による被害を最小限にするためにも、津波避難施設の整備、堤防や橋などの強靭化、避難経路の更なる整備、防災マップの整備、コロナ禍による避難所の運営等を見直し整備を進め、地震・津波から命を守るまちづくりが必要である。